

SJクイズ?

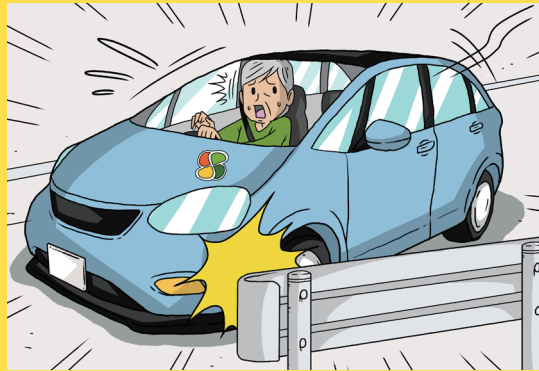
[問題編]

Q₁

2025 年に発生した 75 歳以上の運転者による交通死亡事故（第 1 当事者※・乗用車、貨物車、特殊車）で最も多い事故類型別は次のうちどれでしょう？

①人対車両 ②車両相互 ③車両単独

※交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。



Q₂

2025 年の自動車運転者による年齢層別死亡事故（第 1 当事者・乗用車、貨物車、特殊車）を人的要因別にみると、75 歳以上で最も多いのは「操作不適」です。「操作不適」のうち「ブレーキとアクセルの踏み間違い」が占める割合は何%でしょう？

①約 26% ②約 36% ③約 46%

Q₃

筑波大学 市川政雄教授の調査分析によると、運転をやめた高齢者は運転を続けている人と比べ、要介護認定のリスクが何倍になっていたでしょう？

①約 1.5 倍 ②約 2 倍 ③約 3 倍

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736

SJ クイズ ?

[解答・解説編]

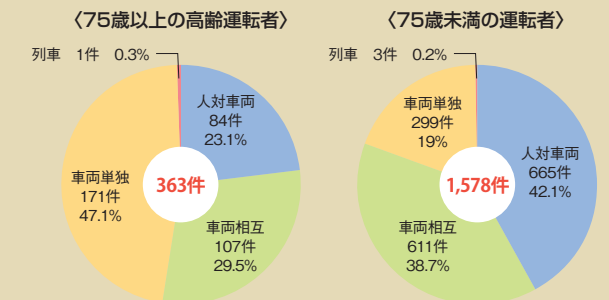
Q1 解答 ③車両単独

<解説>

2025年に発生した75歳以上の高齢運転者（第1当事者）の交通死亡事故を事故類型別にみると、工作物衝突や路外逸脱などの車両単独が47.1%を占め最も多い。工作物衝突は、乗員へのダメージが大きい事故で、特に高齢者は死亡事故につながりやすいといえる。

走り慣れた道であっても、しっかりと前方に注意して、確実な運転操作を意識することが車両単独事故の防止につながる。また、先進安全技術で安全運転を支援してくれるサポカー（セーフティ・サポートカー）の利用も検討してほしい。

●事故類型別・交通死亡事故件数(2025年)



※第1当事者が自動車（乗用車、貨物車、特殊車）の死亡事故を計上。

出典：警察庁資料

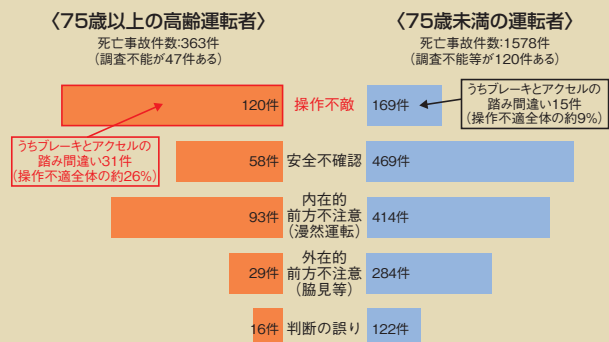
Q2 解答 ①約26%

<解説>

75歳以上の交通死亡事故363件を人的要因別にみると、運転操作不適が120件で最も多く、その約26%にあたる31件が「ブレーキとアクセルの踏み間違い」である。

踏み間違いによる事故は高齢者特有のものだと思われるが、若者をはじめ、どの年齢層でも起こす可能性がある。発進や後退をする際、ペダルやシフトレバーの位置をよく確認してから操作することが踏み間違いの防止につながる。

●人的要因別・交通死亡事故件数(2025年)



※第1当事者が自動車（乗用車、貨物車、特殊車）の死亡事故を計上。

出典：警察庁資料

Q3 解答 ②約2倍

<解説>

市川教授の調査分析の対象は、愛知県在住の65歳以上の高齢者のうち、2006～2007年時点で要介護認定を受けておらず、かつクルマを運転している2844人。2010年時点で運転を続けている人と、運転を中止した人に分け、2016年までに要介護認定を受けているかを調べた。その結果、運転をやめた人は運転を続けている人と比べ、要介護認定のリスクが約2倍になっていた。また、運転をやめても公共交通機関や自転車を利用している人はそのリスクが約1.7倍だった。

高齢運転者は運転をやめれば事故を起こさなくなる。しかし、活動的な生活が送れなくなることで、健康に悪影響が及ぶと考えられる。高齢運転者対策においては事故のリスクだけでなく、健康悪化のリスクへの配慮も必要といえる。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736